

1 月 15 日 : VN 指数は薄商いの中下落 (VN-Index -0.05%)

- 臨時国会が開幕したことを受けて、VN 指数は上昇して取引を開始した。
- 同会では修正土地法が主要な論点となっており、期待感から不動産セクターが好調だった。
- しかしながら先週末の下落によって、調整の可能性を警戒する投資家も多く徐々に弱含んでいった。流動性は低く、指数は下落に転じた。
- 午後に入っても株価は振るわず、指数は下落して取引を終えた。
- 銘柄別では 181 銘柄が上昇、311 銘柄が下落、78 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は大幅に低下し、売買代金は 12.6 兆ドン（前日比-44.5%）となった。

VN30 指数は下げを主導 (VN-30 -0.20%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、12 銘柄が上昇、18 銘柄が下落した。
- VCB (+1.47%) と BID (+1.30%) の 2 行は上昇、MWG (+2.39%) と MSN (+1.23%) も上昇し相場を支えた。
- 一方、銀行、金融サービスセクターでは ACB (-1.94%)、BVH (-1.91%)、SSI (-2.51%) などが大きく下落した。

セクター・個別株の動き

- VIC (+0.12%) と FPT (+0.74%) の 2 社が堅調な動き。インドネシアの大統領訪越時に、これらの 2 社がインドネシアでのビジネスを拡大させることについて歓迎されたと報道された。
- VSC (-2.73%) は韓国企業の顧客を獲得するための、HanExpress とのパートナーシップ締結を発表したが下落。
- 外国人投資家は 544 億ドンの買い越しとなった。買い越しの上位銘柄は、CTG、STB、WMG などが挙げられる。一方、VNM が大きく売られていた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。